

ブックオフグループ コンプライアンス ガイドライン

ブックオフグループの経営理念

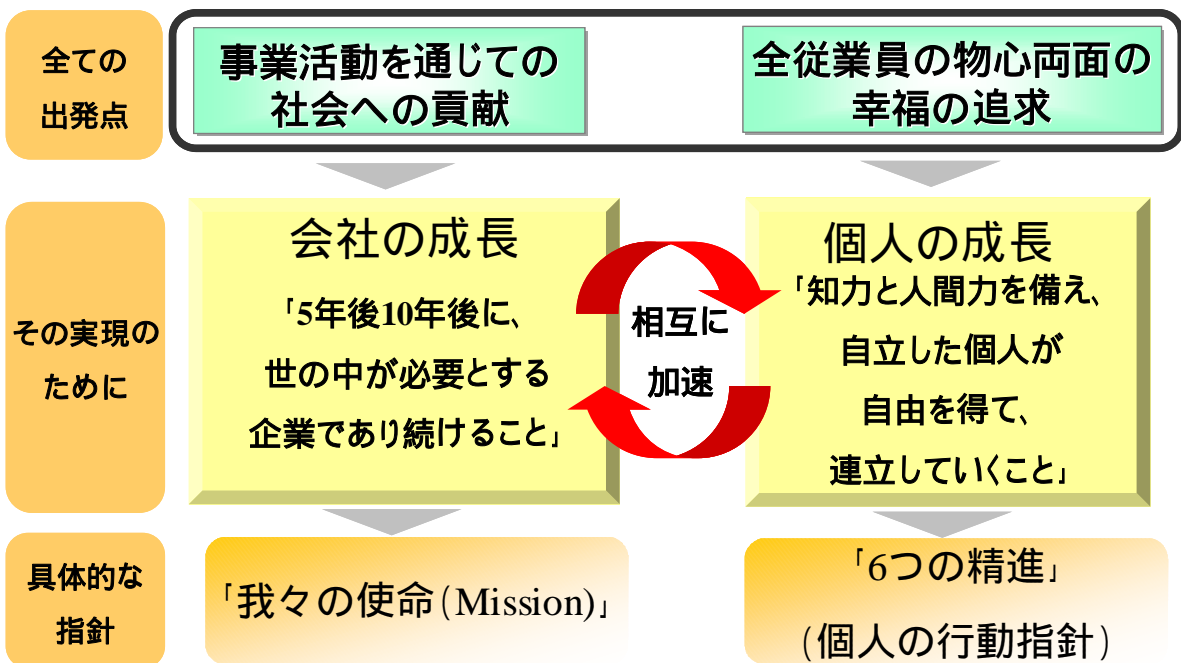
事業活動を通じての社会への貢献

全従業員の物心両面の幸福の追求

ブックオフグループは、経営理念である『事業活動を通じての社会への貢献』と『全従業員の物心両面の幸福の追求』を掲げ、事業活動を通じて「捨てない人のブックオフ」を広く社会に浸透させ循環型社会のインフラとなること、社会に貢献する多くの人財を育成することが私たちの使命と考えております。

ブックオフグループは、私たちの使命である、捨てない人のインフラをつくるカンパニーとして、事業活動を通じて、環境保全や社会貢献ができる企業を目指します。

「もう私には必要ではなくなったけど、でも捨てるのももったいない」と思われるお客様のために、「安くて品質のよいものが欲しい」と思われるお客様のために、私たちの事業や仕事は意味のあるものでありたいと考えます。もっとリユースということが当たり前になるように、必要としている人のそばにお店があるように、「リユース社会のインフラ」になりたいと私たちは思います。



経営理念を実現し、ブックオフグループと私たち個人の成長を促進するための指針として、「我々の使命 (Mission)」「6つの精進」があります。

我々の使命 (Mission)

捨てない人のブックオフ

～捨てない人のインフラをつくるカンパニー～

1. 「捨てない人」とは

「買う、使う、捨てる」というライフサイクルを格好悪いと思っている人。生活を切り詰めることや我慢することではなく、「欲しい時」「いらなくなった時」に賢い選択をすれば生活も心も豊かになるということを知っている人。

2. 「インフラ」とは

電車・バスなどの交通機関のように、生活の中でいつもそこにあり、なくなると困るもの。リユースのリーディングカンパニーとして、ブックオフグループの店舗やサービスがいつもそこにあることで、捨てない人のライフスタイルがより豊かになる。

3. 「カンパニー」とは

ブックオフグループに集い、共通の志を持つ仲間のこと。共通の志とは、捨てない人のためのインフラをつくり、それを世界一のレベルに進化させていくこと。我々がつくるインフラのレベルが、捨てない人の生活と心の豊かさを左右する。

個人の行動指針

6つの精進

1. 誰にも負けない努力をする
2. 謙虚にして驕らず
3. 毎日の反省
4. 生きていることに感謝する
5. 善行、利他行を積む
6. 感性的な悩みをしない

ブックオフグループ及び役員・従業員（私たち）は、経営理念を実現し、誠実で透明性のある事業活動を行うことでブックオフグループをとりまく各種ステークホルダーとの信頼関係を築くために、ブックオフグループ及び役員・従業員が遵守すべき指針をブックオフグループコンプライアンスガイドラインとして制定いたしました。

「ブックオフグループ コンプライアンスガイドライン」は、ブックオフグループ各社の役員・従業員（パートアルバイト及びブックオフグループ各社と雇用関係にあるものすべて）に適用いたします。

1．ステークホルダーとの関係

1.-1 社会との関係

私たちが社会で事業活動を営むためのルール

ブックオフグループの事業活動には、ステークホルダー（お客様、株主、従業員、地域社会等）などと深い関わりを持っています。これらステークホルダーに信頼、支持され続けるためには、社会における各種法令、条例を遵守し、環境保全や社会貢献に努めることなど、社会の一員として、社会と深く関わりながら事業活動を行うことが求められます。

ブックオフグループは、これからもステークホルダーの期待、信頼に応えるべく、誠実に事業活動を行ってまいります。

（１）事業活動に関係する法令等の遵守

私たちは、事業活動を行うにあたって、会社法、民法、古物営業法、個人情報保護法、消防法、青少年育成条例をはじめとする全ての法令・条例並びに業界団体自主ルールを遵守します。

（２）地球環境の保護

私たちは、事業活動を通じて循環型社会へのインフラとなるべく、環境に関する法令を遵守し、環境負荷の抑制に努めます。

（３）反社会的勢力の排除

私たちは、市民生活の秩序や生活を脅かす反社会的勢力、団体とは一切の関係を持たず、これらの圧力に対しても毅然とした態度で臨み、断固として対決したる姿勢で取り組みます。

（４）人権尊重

私たちは、いかなる状況においても人権を尊重し、差別や、個人の尊厳を傷つけるような表現や言動を行いません。

（５）インサイダー取引

私たちは、インサイダー取引規定の趣旨を理解し、重要情報の取扱いには、別途定めるインサイダー情報管理規程を遵守します。

(6) 知的財産権の尊重について

私たちは、知的財産権を尊重し、いかなることがあっても、著作権者の承諾がなく複製された書籍・CD・DVD・ゲームなど、いわゆる海賊版の商品については販売や買取などの取扱いをしません。

(7) 国内及び海外の税法遵守

ブックオフグループは、国内及び海外の関係法令に照らし、納税の義務を果たします。この義務を果たすために、会計原則や会計慣行に則り、帳簿及び会計記録を正確に記載します。

私たちは、レシート、請求書、領収書等に虚偽の事実を記載する旨のいかなる提案も依頼も受付けません。

(8) 海外の法令・倫理・文化・慣習の尊重

私たちは、海外における事業活動や業務等の遂行には、諸外国の法令及び倫理を遵守し、その文化や慣習を尊重します。

(9) 社会とのコミュニケーション

私たちは、お客様、株主など、すべてのステークホルダーに対し、企業情報を適切且つタイムリーに開示するために、公的機関及びホームページ等を利用した広報活動を行うとともに、事業活動に対する意見や指摘に積極的に耳を傾け、開かれた企業として内外の信頼を確立します。

1.-2 従業員との関係

私たちが長く、安心して働き続ける会社であるために

ブックオフグループの最大の財産であり競争力の源泉は、働いてくれている従業員のみなさん一人一人です。そのためブックオフグループでは、働いてくれているみなさんを「人財」と呼んでおります。

ブックオフグループは、財産である従業員のみなさんが安心して長く働くことができる環境を整えることに努め、また従業員の能力開発や自己実現の機会を提供できるよう努めてまいります。

一方で、私たちは、自らの能力を最大限に発揮するとともに、部署、組織に関係なく、広くグループの仲間と協力しあいながら、ブックオフグループの業績及び企業価値の向上に向けて努力してまいります。

(1) 労働関係法令遵守と差別の禁止

ブックオフグループは、労働関係法令及び就業規則を遵守し、従業員の基本的人権の尊重と労働条件の向上に配慮します。

ブックオフグループは、海外現地法人や日本国内での外国人雇用に対応した制度を整備するとともに、性別、人種、国籍、宗教、思想、身体上のハンディキャップ、その他個人的特性に基づくいかなる差別も行いません。

ブックオフグループは、障害者雇用の社会的意義を尊重し、雇用を通じて、障害者の社会進出の支援に努めます。

(2) 職場の環境・安全・健康

ブックオフグループは、労働災害の防止と快適な職場環境の形成を促進します。また、従業員の健康保持増進のために諸制度などを適切に整備します。

(3) 能力の向上と人財の育成

私たちは、自らビジネスパーソンとしての自立性・創造性・専門性の向上に努め、更に人財を育成することができるスキルと人格の形成に努めてまいります。

ブックオフグループは、従業員の自立性・創造性を育み、実践能力を持ち多様な価値観を受入れることができる人財の育成に努めます。また、従業員の評価を公平かつ公正に行います。

(4) セクシャル・ハラスメント及びパワー・ハラスメントの禁止

ブックオフグループは、セクシャル・ハラスメント行為（相手方の意に反した性的な言動等を行うことにより、相手方の就業環境を著しく悪化させる行為）及びパワー・ハラスメント行為（業務命令権限を背景に労働者の人格権を侵害し、不合理な精神的苦痛を与える行為）を厳に禁じます。

(5) プライバシーの保護

私たちは、会社が有する従業員の個人情報、これを厳正に管理し、業務運営上の目的以外に使用しません。

また、裁判所の命令等の正当な理由がない限り、本人の承諾なく、これを外部に開示することはありません。

1.-3 お客様との関係

事業パートナーであるお客様とともに

ブックオフグループの事業は、お客様から商品を仕入れ、お客様に商品を販売していく、商品が流通する間に私たちのお店がある、といった商売です。お客様に安心して売っていただく、買っていただくにはどうしたらよいでしょう。

ブックオフグループの使命は、「捨てない人のインフラ」になることです。インフラとは生活の中でいつもそこにあり、なくなると困るものです。お客様にとって役割を終えた品を、新しく必要としているお客様へ商品が移る中で、当たり前のように商品サイクルの仲介としてそこにあるお店でありたいと私たちは考えています。

お客様にとって信頼できる会社であり続けることを私たちは努力してまいります。

(1) お客様との信頼関係構築のために

私たちは、お客様に愛され、信頼関係を構築していくためにお客様の声に真摯に耳を傾けます。そしてそのニーズを的確に把握し、お客様の求める価値を具現化できるよう努めます。

私たちは、「お客様窓口」に集まった、お客様からのご意見を活かすために、店舗、本部すべてに周知し、情報と意識の共有を図り改善へつなげていっております。

ブックオフグループは、苦情等に関しては速やかに調査し、事態を正確に把握します。また対応にあたってはお客様の立場に立ち、当方に責任がある場合は、関連法令に基づく誠実な対応をとるとともに、必要に応じて改善や再発防止措置を実施します。

(2) サービスレベルの向上

私たちは、常にサービスレベルの維持・向上を図り、お客様の満足を得られるよう努めます。

(3) 安全への配慮

店舗はお客様へのサービス提供の大事な場所です。私たちは、常に店舗などの当社施設の保安状況を把握し、突発的な事故や自然災害の発生に際しては、迅速な応急処置と適切な復旧対策を講じます。

(4) お客様情報の管理

お客様の個人情報を守ることは私たちの基本的なルールです。

私たちはお客様との取引を通じて知り得た個人情報を、お客様本人の同

意がある場合及び法令に基づく場合等の正当な理由がある場合を除いては、決して開示いたしません。

ブックオフグループは、お客様の個人情報が記載された書類は、施錠した場所で厳重に管理するよう指導しております。

1.4 株主・投資家との関係

ブックオフグループの将来に期待し応援してくださっている方へ

株主の皆様は、大切な資金を使って、ブックオフグループの将来へ投資しています。

ブックオフグループは、株主の皆様から受入れた大切な資金を使って、事業活動を行っています。

ブックオフグループは、それら株主の皆様は、ブックオフグループがどういう事業を行って、今の業績はどれくらいで、中期的にはどういう方向に向かっていくのか、正確に、タイムリーに伝える責務があります。

責務を果たすために、適正な会計報告、内部監査の徹底、積極的なディスクロージャーを行うことが重要ですが、その源は私たち一人一人の、「応援してくれている株主様を裏切らない」という姿勢だと考えています。

(1) インベスターリレーションズ

ブックオフグループは、事業内容の詳細、とりわけ投資判断にかかわる重要な情報を、適切な時期に、公平且つ正確な方法で、株主・投資家に対して公表します。

(2) 正確な記録

ブックオフグループは、事業活動に関するあらゆる情報を、法令等に従って正しく記録します。また社内のあらゆる記録に偽りや誤りがないよう十分注意を払い、定められた期間の保存と廃棄時期を遵守し、正確なディスクロージャーを行うことを努めます。

1.-5 フランチャイズ加盟店との関係 一緒にブランドを創り上げるパートナーとして

フランチャイズ加盟店は、ブックオフグループと共に「BOOKOFF」ブランドを創り上げてきました。現在 1000 店を越える店舗網があるのは、ブックオフ立上げ時期から現在にいたるまでフランチャイズ加盟店とともに「BOOKOFF」ブランドを育て、守ってきたことによるものです。

私たちはフランチャイズ加盟店をよきパートナーとして、これからも共存共栄を図ってまいります。

(1) フランチャイザーとしての立場

ブックオフグループは、社団法人日本フランチャイズ協会の定めた行動規範「JFA 倫理綱領」に基づき、次に掲げる事項を遵守します。

- 経験と実績による裏付け
- 正確かつ十分な情報提供
- フランチャイジー適格性の確認
- 契約内容の理解と合意
- 品質の保証と信頼性の維持
- 改良、開発、指導、援助の継続
- 関係法規、法令などの遵守
- 商標、サービスマークの擁護
- 契約義務の円滑な履行

1.6 取引先との関係

一緒にブランドを創り上げるパートナーとして

ブックオフグループの事業活動を行う上で関わりのある取引先はたくさんあります。ブックオフグループはフェアな取引を行うために、職務上関わり合いを持つ取引先との関係を公正かつ透明なものとしします。

(1) 取引先との公正取引

ブックオフグループは、ブックオフグループと取引先がパートナーとして相互繁栄が図れるようなコミュニケーション、取引関係を築いてまいります。

(2) 取引先の選定

ブックオフグループは、取引先の選定に際し、関係法令を遵守し、公正で合理的な判断に基づいて取引先を選定します。

ブックオフグループは、取引先の営業方法が、法令等に適合するものかどうか、調査、検討し、公正な取引を推進します。

(3) リベート要求等の禁止

ブックオフグループは、直接・間接を問わず、いかなる場合も、自己の立場を利用して取引先の金品の贈答や接待を求めることを禁じます。

2. ブックオフグループ役員・従業員の行動指針

(1) 経営責任者(役員)の責任

ブックオフグループ各社の経営責任者は、信頼こそが事業活動の基本であることを肝に銘じ、広く社会全体にとって有用な会社であり続ける強い志のもと、ブックオフグループすべてにその精神を浸透させます。

ブックオフグループ各社の経営責任者は、企業不祥事の処理には強いリーダーシップを発揮して対処するとともに、厳正な社内処分を行い、事案によっては自らにも厳しい処分を課し、社会の理解を得られるよう努めます。

(2) ルール遵守と違法行為の報告

私たちは、法令や就業規則に定められた遵守事項を守り、忠実に職務を遂行します。

私たちは、業務上の判断やその実施に際して、その行為が法令や内部ルールに反せず、しかも会社の利益に合致するかどうかを常に点検します。私たちは、万が一社内での不正を感知したら、上長もしくは該当部署の責任者、及び内部通報窓口へ直ちに報告・相談します。

(3) 私利目的行為の禁止

私たちは、仕事を通じて得られたビジネスチャンス、人間関係、お客様の個人情報等を悪用し、会社の利益を犠牲にして自分や第三者の利益を図ることのないよう行動します。

(4) 会社財産の尊重

私たちは、公私のけじめをつけ、会社の財産を尊重します。すべての会社財産は、事業活動を目的として、私たちに貸与あるいは提供されています。従って会社の備品や消耗品を持ち帰ることは言うに及ばず、業務の遂行と無関係に会社の備品やインターネット・電子メール等を使用することも慎みます。

(5) 日常的な情報管理の意識

私たちは、職務上知り得たお客様の情報、営業秘密等、一切の機密情報を厳重に管理し、外部への漏洩を防止します。また、他人の機密情報を不正に入手し、自己あるいは他の会社の利益のために利用することはありません。退職後であっても、在職中に知り得た機密情報は他人に漏らしません。

(6) ブックオフグループの一員としての自覚

私たちは、絶えず国内及び海外の法令や社会のルールについての知識の習得につとめ、既存の法令やルールの遵守のみに拘泥することなく、更に社会的な良識と清廉さを求めてコンプライアンス体制の充実を図ります。

私たちは、常にブックオフグループの一員であることを自覚し、「経営理念」、「我々の使命」、「6つの精進」を意識しながら行動します。

3. このガイドラインを活用するために（内部通報制度）

(1) 内部通報制度

企業倫理を守ろうとする者を支援するために、当社は内部通報制度（通称「BOC ホットライン」）を設置しています。

このホットラインは、外部弁護士へ直接繋がる制度になっております。通報窓口（外部弁護士）は、通報があった事実と通報内容をコンプライアンス管理委員会に報告します。

コンプライアンス管理委員会は、通報内容を精査し、必要に応じて調査を実施します。

通報にあたっては、原則として通報者の所属部門や氏名などを明らかにすることとします。但し、通報者が希望した場合、通報窓口は通報者の所属や氏名を明らかにすることなく、通報内容をコンプライアンス管理委員会に報告します。

通報窓口及びコンプライアンス管理委員長をはじめとする通報内容を知り得る立場にある関係者は、異動または退職後も守秘義務を負います。

通報窓口及びコンプライアンス管理委員会は、通報者が通報したことにより、社内ではいかなる不利益を受けることがないように保護いたします。

虚偽の通報、不正な利益を得る目的を持った通報、根拠のない噂、特定の個人の誹謗・中傷などを内容とする通報は一切受けません。

附則

本ガイドラインの改廃は、経営会議において決定します。

平成 20 年 10 月 6 日発行